

平成 26 年度の法人の経営状況（総括表）

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	296,013
①事業活動収入	9,805,761
・介護報酬等の公費(※)	8,845,545
・利用者負担金(※)	399,666
・その他収入	560,550
②事業活動支出	9,509,745
・人件費支出	6,927,717
・事業費支出	1,496,926
・利用者負担軽減額	0
・その他支出	1,085,102
(2)施設整備等資金収支差額	▲ 169,676
①施設整備等収入	2,019
・施設整備補助金等の公費	2,019
・その他収入	419
②施設整備等支出	171,696
(3)その他の活動資金収支差額	33,167
①その他の活動収入	491,671
②その他の活動支出	458,504
当期末資金収支差額	159,504
前期末支払資金残高	1,725,559
当期末支払資金残高	1,885,064

(※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	81,362
①サービス活動収益	9,665,936
②サービス活動費用	9,584,574
減価償却費	542,593
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 269,873
その他サービス活動費用	9,311,854
(2)サービス活動外増減差額	56,626
①サービス活動外収益	109,022
②サービス活動外費用	52,396
(3)特別増減差額	2,945
①特別収益	3,582
②特別費用	637
当期活動増減差額	140,934
前期繰越活動増減差額	4,386,666
当期末繰越活動増減差額	4,527,600
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	377,879
その他の積立金積立額	▲ 458,504
次期繰越活動増減差額	4,446,975

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1)資産の部	16,550,856
①流動資産	3,579,555
②固定資産	12,971,301
(2)負債の部	3,778,788
①流動負債	2,078,875
②固定負債	1,699,913
(3)純資産の部	12,772,067
減価償却累計額	4,308,063

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

4. 積立金の状況

貸借対照表上の 積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額(千円)	積立計画の有無	積立目標額(千円)	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名
建設費積立金	将来の改築経費	181,027	○	181,027	建替		全施設
減価償却積立金	将来の固定資産更新の経費	270,776	○	270,776			
人件費積立金	将来の退職金	6,701	○	6,701			

5. 関連当事者との取引の内容

種類	法人等の名称	住所	資産総額(千円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員等の兼務等	事業上の関係				

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要		実施の有無	事業開始年度	本年度支出額(千円)
1	介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免	○	H12	15,213
2	地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施	○	H24	－
3	地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施	○	H9	－
4	災害時における各種支援活動の実施	○	H20	－
5	貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6	他法人との連携による人材育成事業	○	H25	－
7	その他 ・地域ネットワーク会議開催・療育グループ活動・福祉用具の展示等地域の拠点づくり ・夏祭りの開催等、地域住民参加型のイベント企画 ・地域住民、小学生などの青少年に対する福祉実践教室の実施や、保健センター主催の「認知症ケア勉強会」に苑職員を講師として派遣するなど地域学習活動及び企画 ・各種福祉サービスに関する相談窓口の設置 ・小中学生の職場体験実習・介護実習の受入れなど福祉人材の育成	○		－

(注)「本年度支出額」については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「－」を記載している。